

【いじめ対策委員会】

校長・教頭・生徒指導主事(情報集約担当)・教育支援部長・人権教育主任・各学年主任・養護教諭・(外部専門家・臨床心理士)

- 1 「いじめ防止」に向けた方針及び対策の骨子を検討する
- 2 取組の内容および対応部署について検討する

日常の教育活動の改善・充実を図る

【未然防止の基本方針】

いじめを許さない気風をつくる
生徒観察と生徒理解を深める
学校と家庭・地域社会の連携を推進する

生徒の実態を正確に把握しつづける

【いじめ未然防止に向けた具体的対策の概要】

【生徒の心を育てる】

〈道徳教育の推進〉

道徳性・規範意識を高める
教育実践を研究・推進する

↓
全ての領域で道徳教育を実践

【組織の対応力を高める】

〈人権教育の推進〉

いじめ問題の背景・本質追究と
人権意識の高揚を図る

↓
全ての領域で人権教育を推進

【教師の力量を高める】

〈職員研修の充実〉

生徒理解といじめ問題への
対応力を高める研修の実施

↓
教育カウンセリング技法の習得

《日常の教育活動》

- 全教育活動を通して「規範意識」や「自尊心」「思いやりの心」を育む
- 生徒一人一人を大切に授業をつくり「自己肯定感」を高める
- 安心して過ごせるホームルームをつくり「学校生活満足度」を高める
- 一人一人が活躍できる特別活動を工夫して「達成感」を味わわせる

《いじめを許さない校風づくり》

- いじめは「命」に関わる深刻な問題だという認識を持つ
- いじめは絶対に許さないという「使命感」をもって教育にあたる
- 生徒との信頼関係を深め「悩み」を相談しやすい雰囲気をつくる
- 肯定的に生徒を理解し一人一人のよさの発見に努める

《生徒の実態把握》

- 日常の生徒観察や定期的な面談により生徒の変化を察知する
- 生徒カルテを活用して生徒理解の深化と生徒情報共有に努める
- いじめに対する危機感を高めるために事例研究をおこなう
- 心のアンケートなどを実施して生徒が発するサインをキャッチする

【職員研修】

- 1 いじめ未然防止の取組について共通理解を図る
- 2 具体的な取組場面と担当者を確認する(役割分担して対応する)
- 3 全職員で共通実践することを確認する

“共通理解”と“共通実践”

【いじめ対策委員会】

校長・教頭・生徒指導主事(情報集約担当)・教育支援部長・人権教育主任・各学年主任・養護教諭・(外部専門家・臨床心理士)

- 1 「いじめ防止等」の取組を検証・評価する
- 2 取組内容および学校組織の改善について検討する